



## 平成25年度の自然学校が始まる！

5月6日（月）、南但馬自然学校に昨年の11月23日以来の子どもたちの歓声が戻ってきました。冬場には「親子で自然学校」、4月には中学校・高等学校のオリエンテーション合宿等で利用者がありますが、本校は、やはり小学校5年生の子どもたちの笑顔や元気な声が、一番よく合っています。

入校式では、やや緊張している子どもたちも、施設散策オリエンターリングが始まると表情が一変します。この施設散策オリエンターリングは、施設内の位置関係を把握することと、イニシアティブゲーム（日本列島・ラインナップ）を通して仲間づくりをすることを主なねらいとしているので、ほとんどの学校が初日に取り組みられています。子どもたちは、イラストマップをもとに、班員の友だちと協力しながら南但馬自然学校にある20ヶ所のポイントを回ります。「暗号文」「ワークシート」「ヒントカード」「ミッション（指命）」などの言葉が、子どもたちの好奇心をかき立てます。私たちも子どもたちを出発させるとき、「暗号文を解読して、名探偵コナンになろう！」と声かけるときがあります。



しかし、本当にこれでいいのでしょうか。確かに、ねらいは達成され、子どもたちはゲーム感覚で取り組み大満足ですが、『自然を』学んだことになるのか？それも、『自然に』学んだことになるのか？と考え込んでしまうことがあります。本校独自の施設散策オリエンターリングを否定しているわけではありませんが、各利用校のねらいに沿って、さらに『自然に』目を向かせるためには、それなりのアレンジが必要です。

## ちょっとした工夫を！

例年利用されている福崎町連合小学校では、本校のねらいとは別に、「周りの環境を自分の目で確かめ、施設の周りの自然に関心を持ち、自然環境に親しむ」「施設の名前だけでなく、自分が見つけた自然、めずらしいもの、秘密の場所、おもしろそうなものなども地図に書きこみ、覚える」というねらいを持っています。そして、3つの指命（①人の顔ぐらい大きな葉を見つけ、持ってくる ②探検中に見つけた宝物を1つ持ってくる ③気に入った場所やものを見て、俳句を1つ作る）を出しています。これは、子どもたちの興味を引きつける活動であり、他教科との関連を意識した工夫された内容です。

## 竹田城跡登山にも！



竹田城跡は、天守台を中央に南千畳・北千畳・花屋敷が放射線状に配され、城の築かれている山全体が、虎が臥せているように見えることから「虎臥城（とらふすじょう・こがじょう）」とも呼ばれています。また、秋から冬にかけてのよく晴れた早朝に雲海に包まれた竹田城跡は、まさに天空に浮かぶ城を思わせ、幻想的な風景です。テレビの「サザエさん」の挿入歌で紹介されたり、映画のロケ

地になったこともあり、たくさんの人が訪れ、朝来市も「竹田城課」を昨年4月に新設するなど、観光に力を入れています。



自然学校においても、大変人気のある活動で、昨年度は47グループ中17グループが実施しました。

友だちと一緒に登山することで、互いに助け合いながら困難に立ち向かう態度を育成したり、地域の歴史や文化に触れたりするなどのねらいがあります。子どもたちは、息を切らしながら駅裏の登山道を登りますが、天守台からの眺望を楽しむことで、それまでの疲れが吹っ飛ぶようです。

残念なのは、安全面の配慮からか、竹田の街ウォークラリーが4グループだけということです。全員で登る竹田城跡登山と、班別活動のウォークラリーのねらいは違うかもしれませんが、子どもたちの自主性を育むことを自然学校のねらいとしている学校は、是非とも竹田駅に着いてから、1時間程度の竹田の街ウォークラリーを取り入れてみてはどうでしょうか。



赤穂市立赤穂小学校では、9ヶ所のチェックポイントを設け、「稲荷神社の階段は、上の鳥居まで何段あるかな?」「竹田城は別の名を『虎臥城』と言います。これを何と読みますか?地域の人にていねいに尋ねてみよう」などの問題も出しています。自分の目・足で確かめることや、地域の人とのふれあいを求めめています。先生方の子どもたちへの要求レベルは、すごく高いです。しかし、子どもたちはゲーム感覚なので、そんなに苦にせず班員で協力して楽しみながら、その課題を解こうとしています。これは、子どもたちの豊かな社会性を育む活動であり、「生きる力を育む自然学校」と言えるでしょう。

## 平成25年度主催事業紹介

4月27日(土)に、第1回の遊友体験活動事業「見つけよう!食べよう!いろいろな山菜」という新企画の事業を実施しました。当日は、好天に恵まれ、26名の参加があり、タラノメ、コシアブラ、リョウブ、ヨモギなどの山菜を採取し、楽しい一時を過ごすことが出来ました。



山菜採り(コシアブラ)

また、昨年度の自然学校においても、明石市立清水小学校が選択プログラムの自然観察で、「山菜採り・天ぷら」の活動を実施されました。5月中旬までなら、取り入れてみては。

春の自然や山菜に興味を持つ子どもたちが増えてくれることでしょう。



山菜の天ぷらの試食

### 編集後記

5月のゴールデンウィーク明けから、平成25年度の自然学校が本格的に始まりました。今年度は、53グループ68校の利用があります。それぞれの学校のねらいがあると思いますが、ちょっぴり工夫することで、今までとは違う自然学校になると思います、今回の「指導課だより」を作成しました。

(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)